



市青少年山の家 来月5日に初キャンプ

札幌市青少年山の家は7月5日、子ども向けに災害時に役立つ知恵や防災用品の使い方などを体験する「防災キャンプ」を南区滝野にある同山の家で初めて開催する。

2011年の東日本大震災以降、防災用品や非常食への関心が高まっている。しかし、実際に使ってみたり食べたりする機会は少ないことから、同山を家の職員が「災害時に子供たちが自分の身を守り、生き抜く力を育てたい」と企画した。キャンプでは、燃えやすい牛乳パックを細く切って、まきや木炭代わりにし

災害生き抜く知恵学ぼう



■ニュース・話題は
報道センター
電話 210・5555
FAX 210・5556
sapporo@hokkaido-np.co.jp

■ご購入の申し込みは
0120・464・104
ヨムヨム ドーシン

■広告の問い合わせは
広告局 210・5710

屋根工事

(株)三浦工業 札幌営業所
☎011-594-8655
東区東苗穂3条2丁目3-31

病院 13日

- ◇けが(災害)救急病院(受付時間午前9時~翌朝9時)
- ▽禎心会病院(東区北44東8、712・1131)
- ▽手稲溪仁会病院(手稲区前田1の12、681・8111)
- ◇夜間急病(急患のみ)
- ▼内科・小児科(午後7時~翌朝7時) 耳鼻咽喉科・眼科(午後7時~同11時)
- ▽札幌市医師会夜間急病センター(中央区大通西19、641・4316)
- ▼精神科(午後5時~翌朝9時、土日祝は24時間)
- ▽札幌市精神科救急情報センター(204・6010)
- ▼産婦人科(相談のみ、午後7時~翌朝7時)
- ▽札幌市産婦人科救急相談電話(622・3299)
- ▼その他の科
- ▽急病センター(641・4316)に問い合わせ
- ▼歯科(午後7時~同11時)
- ▽札幌市歯科医師会口腔医療センター(中央区南7西10、511・7774)
- ◇医療機関案内、救急医療相談(24時間)
- ▽救急安心センターさっぽろ(272・7119または#7119)

て炊事に挑戦。雨水を身の回りがある素材を使つてろ過し、飲み水にする方法も体験する。家庭向けの防災グッズの使い方や非常食の試食も行う。

9月と来年3月にも防災キャンプを開く予定だ。同山を家の藤城潤さん(30)は「救急救命法について学び、

災害の避難体験者の話を聞く機会も設けたい」と話す。キャンプは日帰りで定員は45人。対象は小3~6年生。費用は1人2500円。締め切りは21日。応募多数の場合は抽選を行う。申し込み、問い合わせは同山の家 ☎591・0303へ。

(山中いずみ)

寄付控除の市指定NPO法人

シーズネット第1号

市民から寄付を受けやすくなる札幌市の「指定NPO法人」に、高齢者の居場所づくりや孤独死対策に取り組むNPO法人「シーズネット」が初めて決まった。活動資金の確保は多くのNPO法人の悩み。市市民活動促進担当課は「制度をさらに浸透させ、多くの法人の活動基盤の強化につなげたい」としている。

この制度は、市が指定したNPO法人に市民が寄付

した場合、寄付額から2千円を引いた額の6%が市民税から控除される仕組み。NPO法人の活動を市民が支える環境を整えるため、

市が今年1月30日にシードした。所得も優遇対象がPO法人にもなる。

同課による、3月末現在、定NPO法人、税制優遇を受け、わすか16法人の柱になって、なく、大半は補助金額もた



岩見沢の旬今年も

アンテナショップあす

岩見沢市の朝採り野菜などを販売するアンテナショップ「いわみちゃんトマルシェ」が14日、札幌市白石区北郷3の12のコンビニエ

と白石区のバラの切り花を、岩見沢市農産推進協議会(会長見沢市長)が